
ARCADIA ver1.00 White Garden PvP

Wiz Craft

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

A R C A D I A v e r 1 . 0 0 W h i t e G a r d e n
P V P

【Nコード】

N 9 5 2 9 R

【作者名】

W i z C r a f t

【あらすじ】

White Gardenが贈るステイアルフでのPVPイベントです。対戦参加者はオルガ・スニーピー・ドナテロ・フランク・リーベルト。 【ログ方式】World View

一、二、三と数えるとその数は五名。五名は互いに距離を取りながら、それぞれの武器を構え振りかざしていた。

互いに均衡を保つ冒険者達、動かないのでは無く、動けない。それは熟練した者達が見せる間合いの^{せめ}闘ぎ合いだった。だが、そんな均衡は唐突に崩れ去る。

先制は一人の冒険者の攻撃から始まった。一人の法衣を纏った冒険者が杖を振りかざしたその時、巨大な炎の玉が五人の冒険者の中心で爆発する。その熱風に煽られながら一斉に、動き始める冒険者達。

対戦者達は、到底観客達の及ばぬスピードで剣を振るい、槍を翳し、斧を振るう。そして、弓を持った冒険者が、大きく撓らせた弓から十数本の矢を放つ。頭上から雨霞のように降り注ぐアローレイ^ンに狙われた剣士はその弓の一本一本の軌道から軽やかに身をかわし、そして弓士の元へ向って走り込む。しかし、流石にその全てをかわしきれなかった剣士が体勢を崩すと、その隙に真正面から弓士が追撃の矢を引く。咄嗟に抜刀した剣士が牽制に真空の刃を放ち、倒れ際の一步で踏み止まる。窮地を脱したかのように見えた剣士は脇目に苦い表情を見せると、持っていた盾を掲げ身構える。そこには側面から距離を詰めていたまた一人の冒険者が槍をくるくると回転させながら近づいていた。

「ステラ フリッツ
Stera Flitzだ」

観客の中の誰かがそう呟いた。

槍を回転させながらその遠心力を利用して一息に貫く、それは槍技独特の流儀でありStera Flitzと名付けられている。

観客の感嘆と共に槍士の手から強烈な一撃が繰り出され、直撃を受

けた剣士はその勢いでPVPエリアの人工芝の外へと弾き飛ばされる。うつ伏せた剣士はよろよと起き上がると悔しそうに、その場で剣を鞘に収めた。

観客が見守るPVPエリアではさらなる壮絶な光景が。重装備を纏った冒険者が今度は先程の炎を放った術者からの集中砲火を浴びていた。術士の周囲にふわふわと生み出される無数の炎球が次々と怒涛の勢いで繰り出される。雨のように降り注ぐ熱風。そんな状況下、全身鎧を纏った重戦士は術士目掛けてゆっくりと前進を続ける。そして、再び術者の手から一際巨大な炎が生み出される。生み出された炎は、今度は確実に重戦士の身体を捉え、大爆発を引き起こす。再び巻き起こる熱風と黒煙。

やったか、と術士が微笑を見せるや否やその表情を凍りつかせる。両手斧を裕に片手で掲げたその重戦士は、まるで身体に纏わり付いた埃を払うかのように平然と立ち尽くしていた。

ここで法衣を纏った冒険者が弓士へとアイサインを送る。互いに意志を確認した二人は一時的に手を組み波状攻撃を仕掛け始め、辺りには熱風と黒煙が立ち昇り始める。

力の限りを尽くして、全力で攻撃を重ねた二人が確かな手応えに息を荒げていたその時だった。

黒煙の中から伸びた巨大な斧が、二人の身体をまとめて薙ぎ払う。まるで綿埃のように大きく弾き飛ばされた術士と弓士の身体からは大量のライフエナジーが漏れ、一人は場外へ弾き飛ばされ、そしてもう一人そのままPVPエリアから粒子となつて姿を消した。

斧を両手に構えた重戦士が残る最後の獲物へと目を走らせたその時、鈍い衝撃音と共にその膝が崩れる。

背中に突きつけられた槍。先ほどSterra Flitzを放った槍士が微笑を携えて、勝利を確信したその時、渾身の力を持って薙ぎ払われた両手斧が、槍士の身体にめり込む。

数メートルの空中遊泳の後、さらに地面と擦れながら倒れこむ槍士。

すぐに体勢を立て直すため、身体を起こそうとする槍士だが、先の一撃で身体が思うようには働かない。

じわじわとにじり寄る重戦士の影。

その影を見つめながら槍士が手を上げ、降参の合図を送る。

一人立ち尽くす重戦士。それが勝利者の姿だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9529r/>

ARCADIA ver1.00 White Garden PvP

2011年3月29日06時56分発行